

平成34年
完了に向け

県営女川地区ほ場整備事業の 区画整理工事がスタートしました

女川地区（女川左岸）の県営ほ場整備事業（県営経営体育成基盤整備事業）については、女川地区関係者の理解と協力を得て平成26年度に事業着手がされ、用水路工事等が行われてきました。平成29年度からは、ついに区画整理工事が行われ、38㍉の工事が実施されます。

総事業費は42億円。受益総面積は251・7㍉（区画区域188・0㍉、用排水区域63・7㍉）で、村内では過去に例を見ない大規模なほ場整備事業としてスタートしました。ほ場整備が行われることにより、意欲ある経営体による農業が展開できるように、生産基盤である農用地の大区画化、用排水路・農道等の整備が行われます。また、暗きょ排水等を施工し農地の汎用化を可能にします。

今回は、地域住民が協力して将来の地域農業の維持・発展に向け取り組んでいるほ場整備事業を紹介します。



《ほ場整備事業による効果》

- 大型機械の導入と合理的な水管理が可能となり、労働時間が大幅に節減
- 換地で農地が集団化され、農作業が効率的になる
- 排水改良に伴い、農地の高度利用化が図られる
- 借地を自分の所有地と併せて効率的に耕作できるようになり、農作業受委託や賃借権設定等を積極的に進めることが可能になる
- 整備された農道や排水路は、生活道路・地域排水としての機能もあり、農村環境の改善や生活の質的向上が図られる

ほ場整備とは…

ほ場（田んぼ）の区画の規模・形状の変更、用排水・農道等の整備、農地の利用集積や非農地の創出によって、土地利用を秩序化し、農地基盤を整備する事業。この事業により、生産性の向上、農村環境の整備、地域活性化などを目指します。

■県営ほ場整備事業

- ◎ 事業名 県営経営体育成基盤整備事業
- ◎ 事業計画概要 左表のとおり
- ◎ 工期（予定） 平成26年度～平成34年度

事業	工事年度	工種概要	工事区分 (H29.5現在発注分)
経営体育成基盤整備 (関係集落) 宮前、桂、高田、蛇喰、若山、小和田、上新保、上野、上野原、上野新、深沢、南中、朴坂	H28	ファームポンド工2ヵ所 排水路工	第1次～3次工事
	H29	区画整理 33ha ファームポンド工2ヵ所 用排水路工	第4次～10次工事
	H30～ H34	区画整理 155ha ファームポンド工5ヵ所 用排水工 その他工	

※区画整理……………田んぼの形を変え新たに水路、道路を整備する。
用排水路工……………田んぼの形を変えずに水路（パイプライン用水、排水路）を整備する。
ファームポンド工…ため池を整備し新たなパイプライン用水路の水源とする。
その他工……………暗きょ排水、湧水処理、補修工事など。

工事中の様子と 平成29年度 工事区域



▲新設されたファームポンド（ため池）



▲施工前の若山集落周辺の様子



▲若山集落周辺の工事の様子（5月20日撮影）（株渡辺組提供）



女川地区(左岸)全体図